

幸せな社会

もくじ

- ②③ 令和4年度社協の事業計画と予算
- ④ 江別市成年後見支援センターに中核機関設置
- ⑤ 社協は「地域に貢献したい」の架け橋になります!
- ⑥ 社協職員募集、災害ボランティアセンター
- ⑦ 寄付報告、福祉センターからのお知らせ
- ⑧ ボランティア掲示板

災害発生時の支援協定を締結

2月4日、江別市社協は江別ライオンズクラブ及び江別グリーンライオンズクラブと、「自然災害発生時における災害ボランティアセンター支援に関する協定」を締結しました。

大規模災害が発生し、災害ボランティアセンターが設置された際に、両クラブより「災害で必要とされる活動資器材の提供」「会員が有する専門性を生かした物的・人的支援の提供」「ボランティア活動者への飲食物の提供」などを支援いただくこととなりました。(関連6頁)



左から江別ライオンズクラブ富樫要会長、江別市社協佐藤功会長、江別グリーンライオンズクラブ佐々木久雄会長



QRコードを読み取って
社協ホームページへ

発行

社会福祉法人 **江別市社会福祉協議会**

江別市錦町14番地87 江別市総合社会福祉センター内

☎ 011-385-1234 Fax 011-385-1236

ホームページ <http://www.ebetsu-shyakyo.jp>

メール Social-Welfare@ebetsu-shyakyo.jp

社協だより「幸せな社会」は、1月・4月・7月・10月に発行しています。

2022

4月



No. 205

社協の事業計画と予算

事業推進方針

新型コロナウイルスの感染拡大は、市民生活に大きな影響を及ぼし、失業や収入減による生活困窮、つながりが失われたことによる社会的孤立、外出自粛による健康寿命の低下など、地域においても深刻な課題が顕在化し、既存の制度や福祉サービスだけでは対応が困難となってきました。

このような状況の中、様々な生活・福祉課題に対し、地域住民や地域の多様な主体が参画し、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく地域共生社会の実現に向けた取り組みが求められています。

江別市社会福祉協議会においては、3年目を迎える第4期地域福祉実践計画（以下、「計画」という。）を基本に、市民、行政、関係機関・団体、ボランティアなどと連携・協働し、地域社会や福祉の動向を見極めながら各種事業に取り組んでまいります。

特に、江別市から委託を受けている江別市成年後見支援センターは、本年度より地域における権利擁護支援と連携の推進役となる「中核機関」としての役割を担い、地域の権利擁護体制の整備を進めてまいります。

また、生活困窮者自立支援制度や生活福祉資金などの施策や事業により、コロナ禍における生活支援や複雑・多様化する日常生活上の課題を幅広く受け止め、対応することが可能な相談支援体制の充実・強化に努め、計画の基本目標である『暮らしの安心を支える地域福祉』を目指し、地域福祉の推進を図ってまいります。

事業計画

第4期地域福祉実践計画の基本計画ごとに令和4年度実施事業の概要をご紹介します。

基本計画 1

地域福祉に関する情報提供や包括的な相談体制による支援

広報活動による福祉情報の提供

▼社協だよりの発行、ホームページの運営

▼生活課題に対応した総合的な相談支援

▼くらしサポートセンターえべつとの運営による生活困窮者への相談支援、中間的就労など相談者の適性を考慮した就労支援対策の充実

▼日常生活自立支援事業による福祉サービス利用援助や金銭管理をサポート

▼江別市成年後見支援センターの運営と法人後見事業の実施による成年後見制度の相談支援と総合的な権利擁護支援の実施、中核機関として地域連携ネットワークの体制整備

基本計画 2

ボランティア活動で進める福祉の環境づくり

▼生活安定のための貸付金を活用した相談支援
▼ボランティアによる日常生活上の悩みごとへの相談支援
▼生活支援体制整備事業の実施による「通いの場」づくりへの相談支援と情報提供

市民がボランティア活動に積極的に取り組めるように支援し、地域福祉の担い手として活動する環境づくりを推進
▼ボランティアセンターの運営(ボランティアの登録・派遣・団体活動費助成・活動交通費補助・ボランティア保険の加入など)

▼江別市ボランティア団体連絡会の運営
▼研修事業などを通して、ボランティア活動を担う市民の育成・確保

▼ボランティア活動者研修の開催
▼傾聴ボランティアの育成(養成研修・スキルアップ研修の実施)

令和4年度社協イベント情報(予定)

- ▶ 江別ふれあい福祉の広場: 7月17日(日)10時～ / 福祉センター及び周辺
- ▶ 福祉団体・ボランティア団体写真展: 7月17日(日)～24日(日) / 福祉センターロビー

基本計画 3
市民参加で進める地域での生活支援や交流活動の促進

高齢者や障がい者が住み慣れた地域で安心して暮らすことを目的とした自治会の助け合い活動を支援

▼愛のふれあい交流事業
(活動費助成・ボランティア保険料助成など)

▼共同募金委員会との協働
江別市共同募金委員会事務局として共同募金運動を展開、生活困窮世帯に歳末見舞金品を贈呈

▼市民と福祉団体が交流できるイベントを開催
江別ふれあい福祉の広場の開催

▼企業・団体の地域貢献活動への支援
社会貢献活動や地域行事へ活動備品(テント・パネル・机・椅子など)を貸出

基本計画 4
体験学習、研修による福祉意識の醸成

市民が福祉に関心と理解を深めることを目的とした体験学習・研修を開催

▼地域福祉活動者研修会の開催
いきいきシニアスクールの開催

▼青少年に高齢者や障がい者と交流できる機会や活動体験のできる場を提供
ワークキャンプの開催

▼総合的な学習の時間へ福祉体験用具(車いす・アイマスク・高齢者疑似体験セットなど)の貸出や協力先紹介、職員派遣の実施



基本計画 5
自立した生活を支援する福祉サービスの提供

高齢者や障がい者が、冬期間安心して暮らせるように除雪サービスの実施と民間の雪処理情報を提供

▼福祉除雪サービスの実施
▼除雪派遣サービスの実施
▼えべつ雪の処理情報誌の発行

▼給食サービスの実施
▼食事の支度が困難なひとり暮らし高齢者などへの配食

▼障がいにより移動が困難な方の生活上必要な外出介助のためガイドヘルパーを派遣

▼移動支援事業所リフレエベの運営
福祉機器の貸与

▼福祉機器貸与事業の実施
農村地域などの保育が必要な児童の子育てを支援
北光保育園・野幌季節保育所の運営



基本計画 6
地域で信頼される社協運営のための組織づくり

組織のガバナンス強化や透明性の向上に努め、地域福祉の推進役としての役割を發揮し、市民から信頼されるよう運営

▼第4期江別市地域福祉計画(市計画)との連携・調整により事業を推進
▼自主財源の確保や経費の効率化などによる財源基盤の整備

▼合同部会で地域福祉実践計画を評価・計画の進行管理
▼社協災害対策計画に基づき防災・災害対策を推進

▼総合社会福祉センターの管理運営

予算

道社協や江別市からの受託事業の予算規模が増加

令和4年度資金収支予算は、3億1492万8千円となり、前年度当初予算と比較し、1538万2千円増加しています。

増加の理由は、道社協受託事業の生活福祉資金貸付事業での相談対応費の増加及び市受託事業の江別市成年後見支援センターの中核機関連業務受託による体制整備、福祉除雪サービスの利用世帯の増加を見込んだこと

によるものです。

収入は、受託金収入が増加する一方、寄付金収入は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、イベントやチャリティの益金・売上などの寄付が大幅に減少しており、令和4年度もコロナ前の水準には及ばないことを見込んでいます。また、共同募金会からの事業助成金も毎年減少しており自主財源の確保が厳しい状況となっています。

収入不足分は、前年度感染症予防のため未執行であった事業費の繰越金と社会福祉基金積立金からの繰入で補っています。

令和4年度資金収支予算書 (単位:千円)

サービス区分	令和4年度	令和3年度	比較増減
法人運営事業	92,006	91,353	653
社会福祉基金運営事業	8,933	7,936	997
調査・研究事業	438	494	△ 56
広報事業	6,413	6,390	23
顕彰事業	143	143	0
江別ふれあい福祉の広場事業	1,177	1,177	0
ボランティアセンター事業	5,663	5,179	484
住民福祉推進事業	287	366	△ 79
愛のふれあい交流事業	8,008	8,007	1
給食サービス事業	42,718	44,005	△ 1,287
福祉除雪サービス事業	39,025	36,940	2,085
除雪派遣サービス事業	3,764	4,584	△ 820
福祉機器貸与事業	511	448	63
生活困窮者自立支援事業	802	711	91
生活支援体制整備事業	5,192	5,000	192
移動支援事業	5,306	5,306	0
成年後見支援事業	17,787	10,510	7,277
福祉サービス利用援助事業	805	705	100
共同募金配分金事業	4,745	5,110	△ 365
生活福祉資金貸付事業	12,399	9,899	2,500
福祉金庫貸付事業	6,522	5,942	580
総合社会福祉センター運営事業	28,561	26,621	1,940
北光保育園運営事業	26,267	25,607	660
野幌季節保育所運営事業	7,424	7,328	96
内部取引相殺額	△ 9,968	△ 10,215	247
合計	314,928	299,546	15,382

【愛のふれあい交流事業】 社協では自治会が行う福祉の助け合い活動を応援します。【愛のふれあい活動】ひとり暮らし高齢者などへの安否確認活動に年額1万円を助成、保険料助成。【地域交流の集い活動】高齢者などのために実施する交流事業へ1事業につき1万5千円(年5回まで)を助成、交通費助成、保険料助成。詳細は、社協 ☎ 385-1234

令和4年
4月から

江別市成年後見支援センターに 成年後見制度中核機関が設置されました

江別市社会福祉協議会では、江別市成年後見支援センターの運営（受託事業）及び、法人後見事業（自主事業）への取り組みにより、知的障がい、精神障がい及び認知症などで判断能力が十分でない方に対し、成年後見制度を適切に利用できるような支援し、権利や財産を守り、地域で安心して生活できるようサポートしています。

今後は中核機関として、地域の関係機関や専門職団体と連携を強化し、これまで江別市成年後見支援センターが行ってきた機能の拡充を図りながら、成年後見制度の利用促進に向けて、効果的に事業を展開します。

中核機関とは、専門職による専門的助言等の支援の確保や、協議会（専門職団体や関係機関が協力する体制づくりを進める合議体）の事務局など地域連携ネットワークのコーディネートを担う中核的な機関です。

お知らせ 広報機能を拡充します

- ・住民向け研修や出前講座等を通して、制度の周知を図ります。
- ・住民や判断能力が十分ではない人に接する機会が多い関係機関等への啓発活動にも取り組みます。



相談機能を拡充します

- ・権利擁護支援を必要としている人を早期に発見し、迅速な相談・支援につなげます。
- ・制度について丁寧な説明をすることにより制度利用に向けた意思決定を側面から支援します。

成年後見制度利用促進機能を拡充します

- ・本人や親族が自身で申立を行う場合に、申立書の作成方法や必要書類等の取得方法について助言します。
- ・後見人等の適切な選任に向けて家庭裁判所や専門職団体等と連携を強化します。

後見人支援機能を拡充します

- ・制度を支える後見人等が孤立せず、安心して後見活動ができるように支援します。



こんなときは、**江別市成年後見支援センター**までお気軽にご相談ください！

成年後見制度について
詳しく知りたい！

施設入所を考えているが
一人で決めるのが不安…

財産の管理が
自分でできない…

身寄りがないので、今後
の財産管理が不安…

江別市成年後見支援センター

江別市錦町14-87
江別市総合社会福祉センター内

☎ **375-8988**

✉ kouken@ebetsu-shyakyo.jp



1 江別ロータリークラブ 介護用ベッド寄贈

令和4年1月27日、江別ロータリークラブの久富文子会長(写真右)から介護用ベッド1台を寄贈いただきました。福祉機器貸与事業にて活用します。

2 北海道コカ・コーラ 清涼飲料水のクリスマスプレゼント

令和3年12月9日、北海道コカ・コーラボトリング(株)の景浦英範課長(写真右)から清涼飲料水318本を寄贈いただきました。市内9施設へお届けしました。



3 北海道信用金庫ひまわり財団 ボランティア事業へ助成

令和3年12月17日、(一財)北海道信用金庫ひまわり財団の林俊樹北海道信用金庫江別支店長(写真右)から「社協のボランティア事業へ」と10万円の助成金交付がありました。

4 カーブス野幌店・大麻駅前店 食料品の寄贈

令和4年2月18日、カーブス野幌店・大麻駅前店よりフードドライブ活動で会員の皆様から集めた食料品を寄贈いただきました。緊急時の食料支援等にて活用します。



5 角山開発 食料品の寄贈

令和4年1月12日、角山開発(株)から「困っている江別市民のために役に立ててほしい」と食料品を寄贈いただきました。寄贈いただいた食品は、緊急対応の際に活用します。

冬休みワークキャンプ



高校生が高齢者施設で福祉体験

1月11日(火)、特別養護老人ホーム静苑ホームにて冬休みワークキャンプを開催し、江別高等学校の生徒4名が参加しました。

昨年度は新型コロナウイルス感染予防のためオンラインで開催しましたが、今年度は感染対策をしっかり行った中で、実際に施設を見学したり、高齢者・障がい者の疑似体験装具を装着して日常生活動作を疑似的に体験しました。

また、施設利用者に提供されている介護食を試食する場面では、身体状況に応じた食事の工夫を実感しました。

参加した学生からは、「施設内は病院をイメージしていましたが、入居者ごとにプライバシーが確保された居住環境で想像とは違った」、「食事はソフト食・ゼリー食・ペースト食と食べやすい工夫があり、その人に合わせた食事を提供していることがすごいと思った」等の感想がありました。

令和4年度採用
江別市社会福祉協議会職員募集

社協では、令和4年度採用の事務局正職員を募集します。スタッフが丁寧な業務をサポートします。ご応募をお待ちしています。

【応募資格】

- 昭和62年4月2日以降に生まれた方
- 社会福祉士か精神保健福祉士登録をしている方、あるいは登録手続き中の方
- 普通自動車運転免許(AT限定可)を取得している方
- パソコン(ワード、エクセルなど)の基本操作ができる方

【勤務先・採用人数・採用年月日】

- 江別市社協事務局(錦町14番地87)、1名、令和4年7月1日採用

【業務内容】

○法人運営、各種地域福祉事業及び相談支援事業などの業務に従事

【給与・保険など】

初任給月額165,900円(4年制大学新卒の場合。職歴加算あり。年1回昇給)、超過勤務・通勤・扶養・寒冷地・期末勤勉など各種手当支給、健康・厚生年金・雇用・労災保険加入、退職金制度有、有給休暇20日(初年度は15日)、その他勤務条件は社協規程による。

【採用試験・日時・会場】

論文及び個別面接、令和4年5月10日(火)午前9時30分から(応募者多数の場合は、個別面接を5月11日(水)に行う場合有)、江別市総合社会福祉センター(錦町14番地87)

【応募方法】

社協事務局、またはホームページなどで試験案内及び申込書を入力し、4月22日(金)までに試験案内に記載する提出書類を簡易書留郵便で郵送(22日消印有効)、または持参(月々金の午前8時45分〜午後5時15分)

【応募・問合せ先】

詳細は、社協(☎3885・1234)へお問合せいただくか、ホームページをご覧ください。

災害が発生したら...

災害ボランティアセンターの役割・機能

毎年のように全国各地で自然災害が起きています。江別市で大規模災害が発生した際には、被災者とボランティアを結びつけ、被災者支援をサポートするため「災害ボランティアセンター」(以下、「災害VC」)を江別市災害対策本部が設置し、江別市社協が運営すると江別市地域防災計画に定められています。

江別市社協は、これまで「東日本大震災(2011年)」「台風10号による上川・十勝の大規模水害(2016年)」「胆振東部地震(2018年)」の災害発生の際に設立された災害VCへ職員を派遣し、現地でセンター運営に携わってきました。

災害VCでは主に被災者宅や避難場所、救済物資集配拠点等で発生するニーズを把握し、道内外から集まるボランティア活動者とのマッチングを行います。社協職員だけで災害VC運営を行うことは困難です。今回協定を締結した2団体(表紙参照)をはじめ、市内の各団体・企業の皆さまと協働し、大規模災害発生時の被災者支援活動に努めます。

共同募金の被災地支援

共同募金会では、被災地でのボランティア活動を支援するため、毎年共同募金の一定額を災害準備金として積み立てています。

大規模な災害が発生した場合には、全国の共同募金会が災害準備金を拠出し、被災地を支援しています。

江別の皆様とともに
地域の発展に貢献します
EPA 江別印刷業協同組合

〒069-0801 江別市中央町29番地の33 (有)アスカ印刷 内
TEL・FAX (011) 389-6730

組合員	(有)アスカ印刷	(有)ア・ノ研究所
笹岡印刷(株)	(株)のつぼろ印刷	(有)トラスティプリント
藤塗装工業(株)	(有)山田印章印刷	(有)くらしの新聞社 賛助会員

社会福祉法人 英寿会

『英生塾』
受講生募集!!

「安心・安全・地域と共に」をスローガンに
“頑張る人”を応援致します

- 介護職員初任者研修(昼間・夜間通学コース)
- 介護福祉士実務者研修(9・11・2月度コース通信課程)

英生塾事務局
〒069-0832
江別市西野幌92番地16
電話 (011) 375-7757
FAX (011) 375-7767
(お気軽にお問い合わせ下さい)

英寿会 事業所

特別養護老人ホーム えぞりすの杜	☎887-6333
地域密着型介護老人福祉施設かつこうの杜	☎391-9111
ショートステイくまげら	☎391-9111
ケアプランセンター かつこうの郷	☎380-1244
小規模保育施設 ふくろうの森	☎398-5568
小規模保育施設 ぞうさんハウス	☎384-2280

損害保険・生命保険代理業

地域に密着した保険専門店
Employee Satisfaction

保険サービス・ジャパンエージェンシー

保険の無料相談実施中

【営業時間】平日9:00〜18:00
定休日 土曜日・日曜日・祝日

商号:有限会社イー・エス・オフィス
〒069-0824 江別市東野幌本町19番地の1 ☎0120-74-0433

紙・事務用品・オフィス家具
OA 機器・学校教材

(有) **カク**

江別市高砂町10番地(市役所横)
電話代382-2553・FAX385-7878

生活困窮者の相談窓口 くらしサポートセンターえべつ『くらサポ』では、経済的に困窮している方、失業された方、引きこもりやニートで悩んでいる方など生活上の悩みを抱えている方の無料相談を行っています。
▶ くらサポ ☎375-8987 相談受付:平日8:45〜17:15(年末年始は休み)

ボランティアによる悩みごとと電話相談 ▶

社協登録ボランティア団体の相談員が悩みごとをお聞かせします。

【相談無料】

なやみゼロ ☎389-7830

相談日	相談時間	相談名・内容	担当団体名
毎週 火曜日	10時～15時	悩みごととテレホン相談 ▶ 家庭生活の諸問題に関する相談	江別家庭生活カウンセラーグループ
第2・4 水曜日	10時～14時30分	にこにこ相談室 ▶ 家庭生活の諸問題に関する相談	江別市家庭問題研究会
毎週 木曜日	10時～15時	認知症の悩みごとと相談 ▶ 認知症の悩みごとに関する相談	江別認知症の人の家族を支える会
第1・3・5 金曜日	10時～14時30分	悩みごととテレホン相談 ▶ 家庭生活の諸問題に関する相談	江別市家庭問題研究会

12月5、2月
道社協監査、江別市おもちゃ
図書館クリスマスお楽しみ会、
道社協理事会、国民健康保険
運営協議会、江別市社会福祉
審議会

**社協会長
おじゃましました**

▼趣旨に賛同して
フレンドサークル 5,000円
ダンスサークル 10,000円、
(株)ふれあいファーム 10,000円、
つ30,000円、匿名 10,000円
▼事業活動資金として
北海道信用金庫ひまわり財団
100,000円

一般寄付金

▼趣旨に賛同して
匿名 10,000円
▼コロナ対策支援金として
公益社団法人札幌東法人会
100,000円

社会福祉基金

令和3年12月1日～令和4年2月
28日 (敬称略・順不同)

**善意の寄付
ありがとうございました**

夕食 (週1回以上～) 配達します

1食 520円

問合せ: 地域福祉係 ☎ 385-1234



社協事業ご案内
在宅高齢者給食サービス

山田 浩 (江別市民生委員児童委員連絡協議会)
(敬称略)

新評議員のお知らせ

※月曜日が祝日の日は、休館します。火～日曜日は、祝日も開館しています。なお、新型コロナウイルス感染症対策のため休館になる場合があります。最新情報はホームページでご確認ください。

開館日時
月曜日 9時～17時
火～日曜日 9時～21時

**福祉センターからの
お知らせ**

活動保険料 (1名あたり)

基本プラン	350円
天災・地震補償プラン	500円
【新設】特定感染症重点プラン	550円

補償内容・補償金額はホームページ
 (「ふくしの保険」で検索) または社協備
 え付けのパンフレットでご確認ください。

【補償期間】 加入申込完了翌日から令和5年3月31日まで。(※特定感染症はプラン毎に対象期間の別の定めあり)
【保険料】 令和4年度の保険料は次のとおりです。

社協では活動中の事故を補償する令和4年度ボランティア活動保険の受付を開始しています。

【加入対象】 ボランティア活動に取り組む個人の方など幅広く加入の対象になります。

【補償内容】 活動中のボランティア自身のケガ及び他人の物を壊したり怪我をさせたことによる損害賠償責任を補償します。

**ボランティア活動保険
のご案内**

お墓 新規建立・リフォーム・お墓じまい

見えない文字のペンキ塗り替え・花立ての交換・目地修理・追加文字彫刻・お墓のお掃除 ☆お墓のことならどんなことでもお気軽にご相談下さい。

★「安心石材店の会」加盟店・15年の安心施工保証
江別市営墓地工事実績1700基・墓石ローン取扱

TEL (011) 383-1232

(有) 上光石材工業

本社・展示場 江別市牧場町1-21 工場 江別市工業町21-33

医) 英生会 野幌病院 JR野幌駅前

野幌病院 地域医療相談室	TEL 381-2643
介護老人保健施設 老健のつぼろ	TEL 381-1133
老健のつぼろ 通所リハビリテーション	TEL 381-1177
在宅介護相談えべつ 英生会ケアプランセンター	TEL 381-8858
訪問看護ステーション のつぼろ	TEL 381-7877
訪問看護ステーション のつぼろ	TEL 381-1193
訪問リハビリテーション科	TEL 381-1193
英生会グループホーム ゆめみの	TEL 391-3119
小規模多機能ホーム ゆめみの	TEL 391-3229
江別第二地域包括支援センター (江別市委託事業)	TEL 389-5420

税の優遇 個人や法人の社協への会費・寄付金及び共同募金寄付金は、法令などで定める要件に該当した場合、法人税・所得税・個人住民税の優遇(軽減)措置があります。

7 社協会費 社協会費納入者は、年度分をまとめて7月号で掲載します。

ボランティア掲示板

生活支援体制整備事業

江別市内の「通いの場」情報！地域の活動を紹介します



レクリエーションのご紹介 感染症対策や自粛生活のなかで、先が見通しづらく、何かと不便な日々が続いていますが、心身ともに健康であるためにも、日々楽しみを見つけて暮らすことは大切です。今回は、通いの場やおうちで、身体的距離を保ち接触を避ける感染症対策をしながらも楽しめるレクリエーションを3つご紹介します。

ベンチホッケー

- ①新聞紙を丸めた棒を人数分と、やわらかいボールを1つ用意します。
- ②2つのチームに分かれ、部屋の両端にそれぞれ一列に椅子を並べて座ります。
- ③棒を使って、相手側の椅子より向こうにボールを入れることができれば得点とし、点数を競います。

新聞紙たたみ

いすに座って床に新聞を広げ、足を使って半分、4分の1、8分の1…と折っていき、誰が一番小さく折れるかやってみましょう。足指を広げるストレッチになり、転倒予防、血行改善や冷え予防にも効果的！

文字ビンゴ

- ①参加者一人ずつ、紙とペンを用意して、テーマ(「野菜」「魚」など)に沿った単語をひらがなやカタカナで3つずつ書きます。
- ②箱の中に50音を1文字ずつ書いた紙を入れたくじを作り、代表者が1枚ずつくじを引いて、引いたくじに書いてある文字が自分の紙に書いてあったら各自○印を付けます。
- ③文字すべてに○が付いたらビンゴとし、先にビンゴになった人の勝ち！



江別市ボランティア団体連絡会

ボランティア会員団体を紹介します

手作り紙芝居「なかま」

公演依頼・問合せ
赤杉 ☎ 090-5221-9370
※上記電話番号へのSMS可



「ももたろう」 コロナ前の公演より

私達は平成26年に蒼樹大学1年4班のメンバーが課外活動の一環で初めた活動が原点となり、卒業後平成28年4月にボランティア団体として12名で活動を開始し現在に至っています。

紙芝居の絵、衣装、脚本は全て手作りです。大学時代を含めて、代表作の「はなさかじいさん」、最新作「わらしべ長者」など日本の昔ばなしや、「アラジンと魔法のランプ」など毎年1作のペースで8作品を製作し、公演しています。

これまで高齢者介護施設、子育て支援センター、幼稚園、自治会など、110公演を行っています。月2、3回の公演を目標に活動していましたが、ここ2年程はコロナの影響で公演依頼がなく月1回の例会で紙芝居の練習、衣装のアイデアといった今できる活動を通してチームワークを保っています。

早く皆様と一緒に紙芝居や歌など楽しめる日がやってくることを願っています。今後とも皆様のご支援、ご指導をよろしくお願いいたします。

公演依頼はいつでも受付けておりますので、気軽にお声をかけていただければ幸いです。



編集後記

今年の冬は記録的な大雪に見舞われ、皆様におかれましては大変なご苦労をされたことと思います。また、新型コロナウイルスの感染も収まらず、イベント等も見通しが立っていない状況に置かれており、多くの市民活動・ボランティア団体も活動が停滞している状況にあります。早く終息し、皆さんが笑顔で活動出来る事を願っています。

今月号は、新年度を迎えるにあたり、江別市社会福祉協議会の令和4年度の事業計画と予算、様々な助け合いの形のご紹介、元気に頑張っているボランティア団体の紹介などを掲載しています。

社協だより「幸せな社会」をより充実した内容で情報の提供をしてまいりたいと思いますので、今年度もどうぞよろしく願っています。

広報編集委員会委員
成田 裕之



赤い羽根共同募金は、社協だよりも役立てられています